

保育料無償化と市独自の待機児童対策支援について

▼ 大野城市議会議員

松田みゆき

ママさん議員活動報告



第34号
2019年10月発行

<松田みゆき事務所>
〒816-0983 大野城市
月の浦 5-11-15
TEL : 092-577-0884
FAX : 092-577-0884
メール : mm@matsudamiyuki.com
ホームページ:
<https://matsudamiyuki.com>

10月から開始の保育料無償化制度 現行の保育料2人目半額3人目無償はどうなる?

10月から開始の保育料無償化制度は、預けている施設によつて異なります。

また、正しくは幼児教育無償化の制度ですので、対象年齢は3歳5歳となります。給食費や制服、教材費、保育園用品などは無償化対象外であり実費徴収です。0歳2歳児が無償化になるのは、住民税非課税世帯のみとなります。

今まで施行されていた2人目半額3人目以降無償の多子世帯への保育料軽減措置は、そのまま維持されます。

幼稚園の預かり保育は、幼稚園の利用に加え、利用日数に応じて、最大月額1・13万円までの保育施設に加え、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サ

ポート・センター事業も対象になりますが、制度が複雑ですので、詳細は市役所にお尋ねください。大野城市では、待機児童対策支援として、市内の届け出保育施設が0歳から2歳までの認可保育所の待機児童を受け入れた場合、年齢に応じて運営費を補助しています。

また、保護者に対して入所している届け出保育所の保育料と認可保育所に入所できた場合の保育料の差額の半額を助成しています。10月の保育料無償化制度が開始された場合、市と独自の制度はどうなるのかの質問に対する回答でした。

子育て部門では、平成30年では11%、今年度では約7%の方がダブルケアの状態にあり、介護・子育ての両面から実態把握に努めていることがわかりました。

また、当事者が、ダブルケアに関することで窓口に相談に来られた際は、関係課と連携した対応を行つて

シルバー人材センターでは、基本的に臨時的、短期的な仕事を提供しています。シルバー人材センターに登録していても、未就業の方が一定数いらっしゃいます。その方に對してどのような仕事を望んでいるのかの聞き取りはしていないことがわかりました。福岡県70歳現役応援センターでは、登録者の約49%の方が就業に結びついており、市内のシルバー人材センターと福岡県70歳現役応援センターの連携をしっかりと行うことで就業促進につながると考えます。

□ダブルケア世代への相談支援について

□高齢者の就職促進について

【裏面もあります!】
■9月議会補正予算
■平成30年度決算概要
■東京バラリンピック代表女子マラソン道下美里選手の交流会に参加
■全国青年委員会出席

保育料無償化の詳細は内閣府ホームページで検索してください。
預け先で月額利用上限があります。



□9月議会補正予算

◆交通安全施設整備事業

補正予算額 754万円

「歩道・交差点・通学路の安全表示」を目的とした寄付を受け、下大利から白木原の区間に路側帯の舗装及び交差点の飛び出し注意の表示等の整備費用を追加するもの。

◆小学校給食費保護者支援事業

補正予算額 585万9千円



原材料費の高騰等に伴い、給食費の値上げがやむを得ない状況ですが、保護者の負担軽減を図るため、令和元年10月から令和2年3月までの6か月間、給食費値上げ分に相当する額を大野城市学校給食会へ補助するもの。

◆公共土木施設災害復旧事業

補正予算額 2110万円

令和元年7月の大雪による善一田古墳公園及び小田浦窯跡群の災害復旧に係る費用を追加するもの。

◆幼児教育・保育の無償化事業

補正予算額 3億6308万2千円

令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が実施されることから、扶助費等を追加するもの。

□平成30年度決算概要

◆東京パラリンピック代表女子マラソン道下美里選手の交流会に参加



9月29日おこおり天の川ふれあいマラソン大会が行われ、その後の交流会に参加しました。太宰府市在住の道下選手。大野城市にも走りに来られているのだとか。今後も応援しています。

歳入総額 362億4612万1千円（前年度比3.2%増）歳出
(3.4%増)歳入歳出差引額 7億2866万円でした。一般会計歳入決算は、市税が136億5134万円となり、全体の37.7%と最も大きな割合を占めています。次に国庫支出金、市債、地方交付税となり、毎年この4つが上位を占めています。

歳出決算は、民生費が140億8107万円となり、全体の39.5%と最も大きな割合を占めています。次に総務費、教育費、土木費、公債費の順となり、毎年この上位を占めています。

～松田みゆきプロフィール～

1976年5月30日春日市生まれ
福岡県立春日高等学校卒業
(15期生 現在 同窓会副会長)
中村学園短期大学食物栄養科卒業(40期生幹事)
2011年大野城市議会議員 初当選
福祉文教委員会(～2013年)
住居表示審議会(～2013年)

2013年都市環境委員会(2015年)
広報委員会(～2015年)
2015年大野城市議会議員2期目当選
総務企画委員会副委員長
決算特別委員長
2017年～ 福祉文教委員会委員長
議会運営委員会副委員長
広報委員会委員

土地開発公社理事
2019年4月市議会議員3期目当選
総務企画委員長
議会運営委員会副委員長
土地開発公社理事
国民民主党青年委員会
国民民主党男女共同参画委員会
月の浦小学校読み聞かせボランティア

